

ダニ媒介性脳炎対策としてのマダニ咬着犬の抗体およびウィルス分離調査への協力依頼

高橋 徹

(北海道獣医師会 会長)

高良広之

(小動物臨床部会 担当理事)

4月15日に開催された第2回北海道医師会・北海道獣医師会連携シンポジウムにおいて、ダニ媒介性脳炎が討論されました。現在までに日本では4名の発症が確認され、いずれも北海道民でした。4名のうち2名が亡くなり、2名が後遺症で苦しんでいます。以前は原因不明の脳炎とされていたようですが、北海道大学獣医学研究院 公衆衛生学教室が開発した検査法によって確定診断が可能になりました。現在までのところ特異的な治療法はありませんが、海外製造ワクチンで予防は可能なようです。

これからの季節、マダニに咬まれた多くの犬が来院します。また人間とともに暮らす犬ですので、表題の調査は犬はもちろんヒトの健康に寄与することになると思います。昨今 One Health の様々な取り組みがなされている中で、ちょっとした手間で貴重なデータになろうかと思っておりますので、北獣会員の皆様には下記の通りご協力をお願いします。また、今年度の北獣大会での提案事項として、「人獣共通感染症としてのダニ媒介性疾患の医学との連携強化推進（仮題）」を小動物臨床部会から提案することを考えております。

協力依頼内容

1. 犬の体表に付着しているマダニを採取し、冷凍保存する
2. 犬から採血、血清分離（0.5ml以上）し、冷凍保存する
3. サンプルは取りまとめておいて、下記宛てに送付する

なお、申し訳ありませんが送料はご負担願います

4. 検査期間 平成30年10月末日まで
5. 検体送付

送付先：〒060-0818 札幌市北区北18条西9丁目北海道大学 大学院獣医学研究院
公衆衛生学教室 准教授 好井 健太郎 宛て TEL 011-706-5212

※ 検体は冷凍のまま、月曜日から金曜日に届くようにお送りください

6. 問い合わせ先 小動物担当理事 高良広之 kora@earth-pet.jp

下記よりダウンロードできます

[ダニ検査（北大）依頼書](#)

[マダニ脳炎調査シート](#)